

『街道をゆく 北のまほろば』 青森を訪ねて2泊3日



1日目：初日は弘前から。東北地方で唯一江戸時代の天守閣が残る弘前城へ。その後、吉田松陰が東北を遊歴中訪れた「松陰室」を特別に見学、国指定重要文化財に指定されている石場家住宅を訪れ、夜は上村洋行館長の講演会と交流会です。

2日目：松前街道を竜飛崎に向かいます。途中義経伝説が残る厩石に立ち寄ります。竜飛崎では、展望台竜飛崎灯台、吉田松陰碑、太宰治文学碑などがある碑の丘、また総延長388.2m、362段の日本で唯一の階段国道339号を訪れます。十三湖でしじみ汁のご昼食。太宰治の生家「斜陽館」を見学したあと、巨大な遮光器土偶がはめこまれた木造駅に寄ります。

3日目：陸羽街道を北上し、江戸時代に南部藩領と津軽藩領の境界に築かれた「藩境塚」を訪れ、斗南藩の足跡が残る円通寺へ。境内には戊辰戦争で亡くなった会津藩士を弔う招魂碑が建立されています。会津若松市の方に向けて佇む「斗南藩士上陸之地」の碑がある大湊経由で、縄文時代の日本最大級の集落跡「特別史跡三内丸山遺跡」を見学します。

コース D7038A1 (青森国際ホテル)
番号 D7038A2 (青森ワシントンホテル)

◆旅行期間:2017年5月12日(金)~14日(日)

■旅程 集合場所・時間/青森空港12:10 弘前駅13:10

スケジュール		食事
1	5月12日(金) 青森空港(12:30発)＝弘前駅(13:30発)＝○弘前城(津軽藩の栄華を伝える重要文化財の天守閣)＝○養生学園松陰室(吉田松陰来遊の地)＝○石場家住宅＝青森市内(17:00着)〈泊〉 青森国際ホテルにて上村洋行館長の講演会と交流会 〈バス走行距離:約80km〉	× × 夕食
2	5月13日(土) ホテル(8:00発)＝○厩石公園＝○竜飛崎(津軽半島最北端の岬)・○吉田松陰記念碑・○太宰治文学碑・○階段国道(珍しい階段の国道)＝○十三湖(しじみで有名な淡水湖)＝○斜陽館(記念館として一般公開されている太宰治の生家)＝○木造駅(遮光器土偶がお出迎える特徴ある駅)＝青森市内(18:30着)〈泊〉 〈バス走行距離:約200km〉	朝食 昼食 夕食
3	5月14日(日) ホテル(7:30発)＝○藩境塚(南部領と津軽領の境界)＝○円通寺(斗南藩の藩庁が置かれていた寺)＝○斗南藩士上陸之地碑(斗南藩移住の歴史を後世に伝える記念碑)＝○三内丸山遺跡(日本最大級の縄文遺跡)＝青森空港(17:00着)＝新青森駅＝青森駅(18:15着) 〈バス走行距離:約250km〉	朝食 昼食 ×

※上記スケジュールは交通機関・道路状況等により変更になる場合があります。 ※交通凡例(＝バス) ※○＝入場観光、○＝下車観光(施設等へは入場しません)。 ※1日目の弘前城・養生学園松陰室・石場家住宅は観光順が入れ替わる場合がございます。

◆旅行代金(大人お一人様) [青森空港・弘前駅集合/青森空港・新青森駅・青森駅解散]

部屋タイプ/利用ホテル	青森国際ホテル	青森ワシントンホテル
2名様1室(会員)	67,800円	66,800円
2名様1室(非会員)	69,800円	68,800円
1名様1室(会員)	68,800円	67,800円
1名様1室(非会員)	70,800円	69,800円

※お部屋数の都合により、ご希望ホテルをご用意できない場合がございます。【ご案内】交流会および2日目夕食会場は青森国際ホテルまたは隣接施設です。夕食会場～青森ワシントンホテルの往復は貸切バスをご用意させていただきます。 ◆食事回数:朝2回・昼2回夕2回 ◆募集人数:120名様(最少催行人数70名) ◆添乗員:1日目青森空港または弘前駅ご集合から3日目青森空港または新青森駅まで同行致します。 ◆会員の旅行代金とは司馬遼太郎記念館友の会会員が対象です。



弘前城



竜飛崎



藩境塚

◆利用ホテル:
青森国際ホテルまたは
青森ワシントンホテル



三内丸山遺跡



十三湖



斜陽館



木造駅

※写真は全てイメージです。